

湘南慶育病院

木暮 綾子(看護部 主任／看護師)、竹内 良(事務部 総務課長／事務)

功 績 感染の管理による廃棄物処理量の削減、処理費用の価格交渉が相まって大幅な衛生費の削減に貢献した功績。

推薦者氏名 寺山 靖夫(医師)

推薦理由 筋肉質な経営という大目標に向けて、我々医療職が出来る事、事務が出来る事、それぞれの役割が相乗効果となり、衛生費用を削減した功績は理事長賞に相応しいと考え推薦します。

内 容

クラスターが起き、衛生費が上がってしまうという悪循環を断ち切る為、木暮氏を中心に感染委員会が試行錯誤を繰り返し、特にリンクナースの底上げに注力してきました。若い世代が多い事もあり、知識の周知、一処置一消毒の徹底や不安の共有・対策・支援を行ってきました。集団免疫を獲得したと言われている外的要因もありますが、そのような細やかな対応の積み重ねが各職員の感染への意識を育み、クラスター防止に繋がり、感染性廃棄物の処理量の削減に繋がったと考えます。

又、事務の竹内氏においては感染性廃棄物の処理量に比べて、処理料の削減に繋がっていない事に着目し、単価減の交渉に応じない開設以来廃棄物処理を依頼していた業者とは別に当院と取引をしたい業者を探し出し、当院に有利になる条件で競わせ、結果、80ℓ 900円→630円、50ℓ 1,300円→830円、20ℓ 1,100円→680円と大幅な単価減に繋がりました。結果、下記数値のように感染性廃棄物の処理量、処理費用ともに年を追うごとに削減されました。

処理量(対前年度)	処理料(対前年度)
2024年度 48,806ℓ/月	599,158円
2025年度 44,353ℓ/月(▲4,453ℓ/月)	542,175円(▲ 56,983円/月)
2026年度 40,468ℓ/月(▲3,885ℓ/月)	413,413円(▲128,762円/月)

このような流れが、患者満足度アンケートに多く記載されていた感染対策緩和を望むご意見に対する施策(面会時間延長、マスク外し等)に繋がったとも考えます。